

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	株式会社こすもす	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護事業所 こすもすの家
所在地	(〒920-0017) 石川県金沢市諸江町下丁 88 番地 1		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

事業所の特徴として通いサービスを中心にしながら、必要に応じて宿泊サービスや訪問サービス、訪問看護を受けることができる一体化の在宅支援サービスを提供できます。

医療依存度の高い方でも在宅を中心に安心して暮らせるように一体的で質の良いサービスを提供していくことに力を入れています。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2024 年 3 月 20 日	従業者等自己評価 実施人数	(14) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2025 年 1 月 22 日	出席人数 (合計)	(4) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (1) 人 <input type="checkbox"/> 市町村職員 (1) 人 <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (___) 人 <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (1) 人 <input type="checkbox"/> 利用者 (___) 人 <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (1) 人 <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (___) 人 <input type="checkbox"/> その他 (___) 人			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<p>人材の育成で中長期目標を立てる。</p> <p>運営推進会議で得られた要望や助言を反映する。</p> <p>安全管理の徹底 事業所の具体的な対策を講じる。</p> <p>災害時の緊急時の対策の構築を講じる。</p>	<p>年に2回の面談以外に話し合いの場を設ける</p> <p>運営推進会議で得られた要望や助言はミーティングで発信する</p> <p>毎月の安全委員会で議論され、事業所独自のマニュアルがあるが実際に行動できるのか検討する</p>	<p>面談以外にも話し合いの場を設けた</p> <p>運営推進会議での意見はミーティングで発信した</p> <p>災害時の緊急時の対策の構築を講じている</p>	
II. サービス提供等の評価	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p>	<p>看護職と介護職が実施したアセスメントの結果を共有</p> <p>利用者の今後の予測とリスク管理を踏まえた計画作成</p> <p>看護職から介護職に対しての予防、機能回復等の提案等</p>	<p>要時ケースカンファレンスを行う</p> <p>看護計画、介護計画を立案する際、ケアプランをもとに作成する</p> <p>看護介護が共同する中で、お互いに提案する</p>	<p>介護と看護が協働しアセスメントし評価している</p> <p>看護職から介護職へ伝えていることはよくあった</p>
	<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<p>すべての利用者に緊急時の対応方針をたてる。</p> <p>急変時に即座に対応が可能な体制を構築する</p> <p>運営推進会議においての情報提供や提案が行われる</p>	<p>安全委員会にて防災士を中心に BCP を見直し災害に備える</p> <p>運営推進会議での意見をミーティングで伝えた</p>	<p>現在アクションカードの作成など具体的な行動ができるようにしている</p> <p>他の運営推進会議に参加して情報を得たりしている</p>

	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32~41)</p>	<p>運営推進会議の記録の開示で情報発信ができる。 看多機の果たす役割等が正しく理解してもらうため、地域に啓発活動を行う こすもすの家の登録者以外にも積極的に訪問看護で対応する。 地域包括ケアシステムの構築方針や内容を理解してもらう 介護、看護の観点から地域の関係者に課題提起や改善策の提案を行う。 近隣住民などに介護力の引き出しや向上に取り組む</p>	<p>オレンジカフェの参加 地域包括センター、民生委員の方との連携を取り地域とのかかわりを持てるように活動する 地域関係者に対する課題提起や改善策の提案ができるように顔の見える関係性作りを行う 家族の介護力を引き出すためのアセスメントを行い家族が出来ていることを踏まえて家族がやりたいこと、できそうなことを把握し取り組む</p>	<p>オレンジカフェへの参加している 地域関係者への関係性づくりはあまりできていなかった 家族の介護力をかかわりの中で見ながら、できそうなことはしていただき、できないことはサポートさせてもらった</p>
<p>Ⅲ. 結果評価(評価項目 42~44)</p>	<p>42.43.44 目標の達成をあげていく。</p>			

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 「今回の改善計画(案)」および「運営推進会議における評価」

項目	改善計画(案)	運営推進会議における意見等
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1~10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人材の育成について、年に2回の面談以外に個別でも話し合いを行うようにしているが、まだゆっくり話を聞けていない職員もいるので平等に話し合いの時間を作る ・職員の専門的技術向上のため研修への参加ができるように工夫する(研修の時間帯など) ・全職員での情報の共有について、どのような情報ツールが一番伝わるのか検討する ・常勤への仕事の負担が多いと感じているようなので、何が原因なのか業務の見直しをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題意識をもって改善計画を策定できていると思います ・BCPの定期的な見直しも検討することが望ましいです

		<ul style="list-style-type: none"> ・災害などに緊急時の動き方が周知されていないこともあるため しっかり個人個人が動けるようにする 	
Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の有する能力を最大限に生かした計画について、個別性が現れた計画ができていないことがあったため、看護・介護で話し合っ立案できるようにしていく ・利用者の状況変化を早期に把握しても、計画への反映が迅速ではないため、早めに計画変更するように、看護・介護で声を掛け合う ・終末期ケアにおいて、家族への説明はできているが、家族の意向の記録が十分でないため、しっかりと整えていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の意向、家族様の意向を尊重しようとする姿勢がとても良いと思います
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> ・病院、施設との連携はしっかりとできているので、今後も継続していく 	
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民向けの積極的な啓発活動がなかなかできていないため 来年度は、ボランティアの方をお呼びした時など、他の事業所や地域の方への案内をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と関わっていこうとする意識は重要だと思いますぜひ積極的に取り組んでいただきたいです
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		今後も継続する	

※「改善計画(案)」には、事業所としての案を記載します。「運営推進会議における意見等」は、運営推進会議の場で得られた主なご意見等をメモします

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い	
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]						
(1) 理念等の明確化						
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践						
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	2	11	1		利用者本人の体調、、家族の都合に合わせて臨機応変に適切な対応をしてもらえるので助かります
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 利用者の体調や、家族の都合により急な泊まりなど柔軟な対応をしている 明確には理念に掲げられていない 利用者様に1人1人に合う看護を日々考え提供できるように心がけている。利用者さんや家族の意見も聞きスタッフで話し合い希望にそった内容の提供を行っている。				
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している		12	2		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 職員への周知が十分でない。 1人1人の利用者様に合った看護は提供できている				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い	
(2) 人材の育成						
① 専門技術の向上のための取組						
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	1	9	3	1	
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 職員各自、興味がある研修に積極的に参加している 育成計画を作成し評価して頂いている ミーティングを通じて職員間でも意見交換している				
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	3	9	1	1	研修で学んできたことを教えてもらえるのでとても参考になります
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 希望する研修には行けるような配慮がなされている 研修などには参加できていません 今年度は看護協会の研修で在宅や介護事業所の支援事業に参加できた				
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保						
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	4	8	2	0	多くの利用者様の情報をすべて共有することは難しいと思いますがカンファレンス、ミーティング以外にもいろいろな方法で情報を共有していただくと嬉しいです
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 毎月のミーティング、共有ノート、グループLINE、朝の申し送り、業務中などで情報共有していると思うが、その情報をきちんととって				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い	
		<p>いないと感じることもあり、どのような情報ツールが一番伝わるのか考えていく必要がある。</p> <p>必要時、ケースカンファレンス実施している月に一度のカンファレンスで看護、介護共に話し合いができています。また日々の業務中でも看護師や介護士と話し合いはできている。ミーティングでの話し合いで利用者の情報を共有している</p>				
(3) 組織体制の構築						
① 運営推進会議で得られた意見等の反映						
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	0	7	7	0	<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>議事録は事務所に置いてあるが、なかなかわざわざ見る機会がない。重要な内容があれば報告して欲しい</p> <p>現段階ではできているかはわからないです 今まで運営推進会議での話し合いについて全職員に対して伝達していなかった。</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い	
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備						
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	6	5	2		常勤職員の負担が大きいということがとても気になります 家族ができることで何か少しでも負担を減らすことができれば いいのですが
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 常勤職員の業務負担が大きい 常にスタッフで声かけを行い行動できている と思う				
(4) 情報提供・共有のための基盤整備						
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備						
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	1	10	3		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 伝達ノートでの周知に努めているが、情報量が多すぎるため工夫が必要 内容に変更が合った場合リーダーにまず報告。共有ノートに記載又は共有 LINE で報告している 申し送りノートや LINE で情報共有している 共有ノートの記載をしっかりとっていると思う				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い	
(5) 安全管理の徹底						
① 各種の事故に対する安全管理						
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている		11	2		
		事故やヒヤリが合った場合はすぐに報告、ミーティングで対策方法を考え徹底していく 事故やヒヤリは月1回の安全委員会で話し合っている				
② 災害等の緊急時の体制の構築						
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている		9	3		停電、断水の時の対応策はあるのか知りたいです
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 具体策が職員に周知されていない 1月の地震の際できていなかったと思います 定期的に避難訓練を行なっている				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い	
II サービス提供等の評価						
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供						
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成						
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施						
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		12	2		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 月に一度報告書、計画書を作成しアセスメントをしている。利用者様の個別性を考えアセスメントできていると思う。				
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている		12	2		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 介護士と共に受け持ち性にしており、看護、介護の意見で話し合いができています 利用者一人一人に看護、介護の受け持ちで対応策を決めている 受け持ち制で介護士、看護師との間で話し合いがよく持たれていると思う				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い	
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成						
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	1	13			受け持ち制について詳しく知りたいです
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 利用者様と家族様の意見を第一に考えその内容に合った計画を作成できていると思う				
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている		12	2		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 利用者が出来ることはできるだけ維持できるように対応している 身体に変化がある時はケアマネのプラン変更もあり、現場でも本人の能力が活かせるような関わりができていると思う 個別性があらわれた計画が少ない ADL 状況を理解して作成できていると思う				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い	
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成						
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている		11	2		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 今後の状況も理解したら上で作成できていると思う				
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践						
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映						
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている		13	1		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 計画への反映が迅速でないできていると思う				
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映						
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	2	12			
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 訪問することにより家族の意見も聞くことができるため偏りなくできていると思う				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い	
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有						
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	2	8	3		こすもす⇔家族⇔病院（主治医）との連携がよく取れていると思います
[具体的な状況・取組内容] リハビリさんの意見も聞き多職種の状況共有はできていると思う						
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供						
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供						
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	2	12			
[具体的な状況・取組内容] 常に意見交換をしているためできていると思う						
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	2	12			
[具体的な状況・取組内容] 利用者の対応が変わった時は一度担当者同士で話し合った内容で対応している						

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い	
② 看護職から介護職への情報提供および提案						
21	○ 看護職から介護職に対して、 疾病予防・病状の予後予測・ 心身の機能の維持回復など の観点から、情報提供や提案 等を行っている	2	12			<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 申し送り前に気になる利用者の情報をリーダーに伝えている 看護の視点ではわかりやすく介護士に伝えている</p>
(4)利用者等との情報及び意識の共有						
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供						
22	○ サービスの趣旨および特徴 等について、分かりやすく説 明し、利用者等の理解を得て いる	1	11	1		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 利用者様にはわかりやすく伝えるように心がけている</p>
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明						
23	○ 作成した計画の内容や在宅 での療養生活の継続に向け て留意すべき点等について、 分かりやすく説明し、利用者 等の理解を得ている		12	2		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 必要な際には指導、説明を常に行っている</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い	
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1	11	2		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 必要な際には指導、説明を常に行っている				
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有						
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	2	11	1		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ご家族の思いをよく聞いていると思う 家族の思いを聞きながら、本人、家族の希望に沿うようサービスを行っている 看護師の意見も述べつつ家族の意見を尊重する				
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	2	10	2		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 主治医とも連携をとり必要時にご家族も含めた話し合いの場を取るようになっている 現段階ではまだ経験できていない				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまりで きてい ない	全く でき てい ない	
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	2	9	3		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 家族への説明はいつも丁寧に行われており、記録も残してある 意向の記録が十分でない まだ経験できていない				
2. 多機関・多職種との連携						
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供						
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行						
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	1	11	2		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 退院カンファレンスを行い、情報共有している				
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有						
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有できている	3	8	3		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u>				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い	
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築						
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	2	11	1		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 主治医の指示により対応している				
(2) 多職種との連携体制の構築						
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討						
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている		7	3		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u>				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い	
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画						
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案						
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信						
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている		5	6	2	
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 今年度もしっかり職員に周知できていなかったため今後は回覧などにして全職員が見れるように工夫していく予定				
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている		2	8	3	
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u>				
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮						
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供						
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	1	6	4		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u>				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い	
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ						
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	5	9			
		[具体的な状況・取組内容] 吸引機が3台あり、吸引できる介護士がいる				
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	1	4	1	7	
		[具体的な状況・取組内容] 受け入れたことがないのでわからない 当事業所では受け入れ予定はない				
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	5	9			
		[具体的な状況・取組内容] 終末期の利用者様も受け入れている				
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画						
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解						
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している		6	4	3	
		[具体的な状況・取組内容] 全職員までは関わっていない				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い	
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開						
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	2	8	1	2	[具体的な状況・取組内容]
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等						
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている		5	3	5	[具体的な状況・取組内容]
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている		2	7	4	

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄				
Ⅲ 結果評価							
① 計画目標の達成							
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <table border="1" data-bbox="647 379 1413 483"> <tr> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px; text-align: center;">12</td> <td style="width: 20px; text-align: center;">1</td> <td style="width: 20px;"></td> </tr> </table> <p data-bbox="660 491 981 523"><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p>		12	1		
	12	1					
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感							
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <table border="1" data-bbox="647 912 1413 978"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">1</td> <td style="width: 20px; text-align: center;">12</td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> </tr> </table> <p data-bbox="660 986 981 1018"><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p>	1	12			
1	12						
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等にお	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
	いて、在宅での看取りに対する安心感が得られている	2	11			
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ご家族の気持ちをこまめに聞きながら、お泊まりや訪問をしっかり組み合わせて、その人に合ったサービスの提供をしている				

評価の結果、「できている」と感じた点や、日頃から特に力を入れている点 7 件の回答

利用者のケアや生活に対して看護、介護で連携して対応することができていると思う

職員間のコミュニケーションが取れており、利用者様の細かな変化に対応できている

利用者様の積極的な受け入れや、要望を聞いてなるべく叶えようとする姿勢と行動はできていると思う。

介護士、看護師がしっかりと協働できている職場であると思っている。お互いの持つ知識や技術で助け合いながらケアを行うことで、ケアの質の向上もでき、利用者様や家族にとって満足していただけるサービスが行われると感じている。

医療ニーズが高い方、看取りの方の受け入れ 吸たん、経管栄養などの家族指導

終末期の利用者様、ご家族と十分な意見交換に努めている。

入社して5ヶ月が経ちます。最初は看多機の仕組みがよくわからず、動き方もわからない状況で覚えること慣れるまでが大変でした。今はなんとなくですが動き方を理解し、利用者様のアセスメントもできるようになってきました。毎日笑顔でいること。利用者様やスタッフに対する声かけを常に行い、助け合いの気持ちをもって働いています。

評価の結果、「できていない」と感じた点と、改善に向けた取組案 5 件の回答

地域の方々と交流の機会あまりできていない気がする

地域の方との関わりや医療的なことなど普段自分に接する機会がないものでも情報収集を積極的に行う

地域への展開などは、あまり意識できていない。改善案もあまり浮かばない

地域との関わりが少ないと感じている。今後は地域包括センターや民生委員の方々と密に連絡を取り、地域に必要なことやこすもすの家としてできることをしていきたい

近隣地域との関係性作り。事業所をまず知ってもらうためのPR。